

No	基本方針	基本施策	具体的施策	素案ページ	ご意見の内容	市の考え方
1	現状と課題	-	-	14 15	「佐賀平野は有明海の満潮時よりも低い土地が広がり、集中豪雨等の大雨時には市街地を中心に内水氾濫による浸水被害が発生しています。有明海の潮位の影響や複雑な用排水慣行がある平野部では、浸水被害の軽減は非常に難しいのが現状です。市街地の雨水幹線には、農業用水路としての側面を有しているところもあり、急激な都市化に整備が追いつかず、未整備の雨水幹線が残っています。」との現状・課題認識、および、人口減による厳しい財源試算等を見るに、「近年の気候変動に対応するため、流域治水の観点を加えたハード対策とソフト対策の両面から取り組むことが重要です。」とした浸水対策に賛同いたします。	取組方針に対するご賛同ありがとうございます。本市としましても、近年、豪雨が頻発化する等、気候変動の影響が顕在化し、様々な関係者との連携が重要となっていることから「気候変動への対応と多様な主体による流域治水」という観点をもって浸水対策を実施していきます。
2	目指す将来像	-	-	48	将来像および「安全な水の供給と適切な汚水・雨水の処理に努めます」等の基本方針に賛同します。	将来像および基本方針に対するご賛同ありがとうございます。本市としましても、将来像に掲げた「暮らしを支える安全安心な上下水道」を実現するために、「安全」・「強靱」・「循環」・「持続」の4つの基本方針を柱として各事業に努めてまいります。
3	安全	2安全で快適な下水道	3排水対策の推進	57 58	温暖化等による豪雨の頻発化・激甚化しております。その一方、本市における雨水の排出は、有明海の潮位や、複雑な用排水慣行など変動要因が多くあり、あらゆる豪雨に対して完全に備えることは非常に困難であることは理解しております。しかし、本市における洪水対策は喫緊の課題と考えているので、豪雨時の諸条件を、諸関係機関で円滑に連携・調整しつつ、より効果的に浸水被害の軽減を図るソフト対策の検討・調整を行いつつ、「佐賀市排水対策基本計画」に基づき「雨水管渠（住宅密集地の雨水幹線整備率41%）」、「雨水ポンプ施設（設置済4/計画7）」および、「雨水貯留施設（設置済3/計画4）」等のハードの整備も着実に進めていただきたい。	本市としましても、「佐賀市排水対策基本計画」に沿って既存施設の有効活用、雨水幹線の整備などのハード対策、および市民の大雨への備えを支援するソフト対策を組み合わせた総合的な排水対策を計画的に進めていきます。